

随意契約の相手方及び理由等(物品関係)

区 分	内 容 等	備 考
契 約 年 月 日	令和8年3月19日	
契 約 件 名	中性子イメージング実験用高温対応型燃料電池評価装置 1台	
契 約 金 額	30,940,800円	
契 約 の 相 手 方	(株)東陽テクニカ	
問 合 せ 先	財務部契約課東海契約室東海契約第一係 Tel 029-284-4890	
随意契約の適用条項	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構 政府調達事務取扱規則第11条3号	既調達物品との互換性
契 約 の 概 要	本契約は、J-PARCのMLFにおいて実施されるNEDO事業の一環として、燃料電池内部の水挙動を中性子ビームで可視化する研究に必要な燃料電池評価装置を導入するものである。本研究では、高温条件下での水挙動解明を目的としており、アノード・カソードガスの温度・湿度・流量を独立制御し、100℃超での運転が可能な装置が求められる。さらに、装置サイズ制約や遠隔操作による統合制御・自動測定機能など、MLFの実験環境に適合する性能を備えることが必要である。	
随意契約の理由	本件で必要とされる燃料電池評価装置は、①燃料電池へ供給するガス温度を20～120℃の範囲で精密に制御可能であること、②装置本体の外形寸法がW900 mm×D1000 mm×H1800 mm以内に収まること、③PCによる遠隔操作により本体のみならず負荷装置および抵抗測定器を統合制御し、自動測定を実施できるソフトウェアを備えること、という複数の厳格な要件を同時に満たす必要がある。これらはいずれもJ-PARCのMLFに設置された中性子イメージング装置内での運用および、NEDO事業における高温条件下での燃料電池内部水挙動の可視化研究を遂行する上で不可欠な条件であり、いずれかが欠けた場合には実験そのものが成立しない。現時点において、これらすべての要件を満足する装置は、東陽テクニカ株式会社製の燃料電池評価装置「AutoPEM」とその専用制御ソフトウェアTFTのみであり、同等機能を有する他社製品は確認されていない。また当該製品は代理店等を介した販売を行っておらず、同社との直接契約に限定される。このため競争入札による調達は適当でなく、政府調達事務取扱規則第11条第3項に該当するものとして、随意契約とする必要がある。	